

プレーも気持ちもまだまだ若い！ 還暦記念サッカー大会

5月24日、白石川サッカー公園で「還暦記念サッカー大会」が開催されました。この大会は、本市のサッカーの発展に多大なる貢献をしてきた4人（写真左から大宮のぶあき、いしざわよしあき、かのりたか、さとうまさひろ）の方々が今年還暦を迎え、これからもますます元気で活躍されることを記念して白石サッカー協会が主催しました。中学生や女子大学生、シニアのチームが参加し、和気あいあいとサッカーを楽しみました。大宮さんは「サッカーと同じで一人では何もできない。仲間がいたから続けられた」と熱く語ってくれました。



▲「赤いサッカーパンツ」を贈呈され、うれし恥ずかしの4人

中心商店街をにぎやかにしていきましょう！ マンスリーライブ2009 カラオケナイト



▲この日誕生した新ユニット「わみん」

中心商店街に活気を！街のど真ん中でカラオケをしませんか？ すまいるひろば野外ステージで毎月第2土曜日の夜にコンサートを開催しているのが、S.A.P (Shiroishi Artist Project) です。

6月13日のマンスリーライブは、「カラオケナイト」と銘打って誰でも参加できる「カラオケ大会」として開催されました。雨の影響で、開催が30分ほど遅れたライブでは、梅雨空を吹き飛ばすように、きれいな歌声が商店街に響き渡っていました。7月11日18時からのライブは、フォークライブを予定しています。

きれいなコイが泳ぐ沢端川に！ 沢端川「コイの放流式」

市民や観光客の皆さんに、沢端川を泳ぐコイを楽しんでもらいたいと、ヒゴイやニシキゴイなど130匹（約15万円相当）を白石ライオンズクラブ（風間文静会長）が白石市観光協会（佐藤善一会長）に寄付しました。

5月15日、沢端川「ふれいデッキ」で行われた「コイの放流式」では、式典に続いてひかり幼稚園年長組の園児86人が2人1組になって、次々にコイを放流しました。沢端川には、現在約110匹のコイが生息しており、新しい仲間と一緒に透き通った川面を彩ってくれることでしょう。



▲コイを放流するひかり幼稚園の園児たち

心のこもった手づくりの品が勢ぞろい！ 第5回手づくりの市



▲手づくりの品が所狭しと並べられた会場

5月30・31日の両日、壽丸屋敷で第5回手づくりの市が開催されました。

手づくりの市は、市中心部の空き店舗を利用してにぎわいをつくりだそうと平成18年から開催しています。

第3回からは会場を壽丸屋敷に移して、サークルや講座で制作した作品を発表する場としてだけでなく、観光客の皆さんとの交流ができる場にもなっています。

初日の30日は、たくさんの皆さんが会場を訪れ、手づくりの品を手にとっては作り方を熱心に聞くなど、会場は1日中にぎわっていました。

思い思いのあかりを求めて！ 和紙あかり製作ワークショップ

白石和紙を使ったあかりづくりを進めている、市民団体「蔵富人」は、毎年5月から7月にかけて、和紙あかり製作のワークショップを行っています。

6月13日、14日に壽丸屋敷で行われた2回目のワークショップには、東京などから17人が参加。木の枝などで骨組みを作り、形を合わせて切った和紙を丁寧に張り付けていきます。完成した作品は、8月10日、11日の両日、夏まつりに併せて壽丸屋敷で展示されます。3回目のワークショップは、7月18日、19日の両日、13時から17時まで開催しますので、ぜひご参加ください。



▲思い思いの和紙あかりづくりに取り組む参加者たち

目指せ未来の大横綱！ 第13回わんぱく相撲仙南場所



▲力強い相撲を見せた佐久間くん（写真右）

6月6日、蔵王町立宮小学校体育館で第13回わんぱく相撲仙南場所が開催され、仙南地区を中心に参加した50人ほどのわんぱく力士たちが、今年も迫力ある熱戦を繰り広げました。（社）白石青年会議所が毎年主催しているこの催しには、市内からも多数の小学生が参加。4年生の部で大平小学校の佐久間将大くんが3位になるなどの活躍を見せました。「相手も強かったが、まわしをつかむよう心掛けました。普段、相撲の練習はしていませんが、3位になれてうれしいです」と話した佐久間くん。来年も、わんぱく力士たちの力闘が期待されます。

今年は楽しくラクラク清掃！ プールがピカピカ！ 市内5つの小学校でEM菌を使ったプール清掃



▲会員の皆さん10人とともに清掃を行う児童たち

EM菌（有用微生物群）を使って環境に優しいプール清掃を行おうと、今年3月に市民有志で発足した環境浄化EM菌の会（佐藤常世会長）が市内の小学校に呼び掛け、5つの小学校でEM菌発酵液の投入を実施しました。

白石第一小学校（佐藤茂廣校長）では、4月中旬に各児童が家庭でEM菌発酵液を作り、4月28日に約350ℓを投入しました。5月27日、6月1日のプール開きを前に5・6年生173人が清掃を実施。昨年までのような緑色の藻は消え、児童たちは「今年の掃除はラクラク！」と、笑顔で清掃を行っていました。

泥にまみれて農業体験！ 田舎暮らし体験ツアー春編

5月16日・17日の2日間、田舎暮らし体験ツアーの春編が開催され、東京都や仙台市から5家族17人の皆さんが参加しました。「水と緑のまち白石をもっと知ってほしい」という思いで始まったこのツアーも今年で4回目。田植えや里芋の植え付け、タケノコ掘りなどの体験を通じて、都会にはない豊かな自然がはぐくんだ白石の魅力を感じました。東京都から参加した青山さん一家は、「どうしても田植え体験がしたくて応募しました」と、泥だらけの姿で話してくれました。10月には秋編が開催され、稲刈り体験や里芋の収穫体験が行われます。



▲参加者の皆さんで記念撮影